

【コロナ対応新ビジネスモデル補助金事務局提出用】

(様式2)

経営計画書

名 称：株式会社新ビジネスモデル

<応募者の概要>

(フリガナ) 名称 (商号または屋号)		カブシキガイシャシンビジネスモデル 株式会社新ビジネスモデル												
法人番号 (13桁) ※1		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3
自社ホームページのURL (ホームページが無い場合は「なし」と記載)		http://www.aaaa.co.jp												
主たる業種		【以下のいずれか一つを選択してください】 ① () 製造業、建設業、運輸業 ② () 卸売業 ③ () サービス業 ④ (○) 小売業 ⑤ () ソフトウェア業又は情報処理サービス業 ⑥ () 旅館業 ⑦ () その他の業種 (上記以外)												
常時使用する 従業員数 ※2		○人		*常時使用する従業員がいなければ、「0人」と記入してください。 *資本金又は従業員数が中小・小規模事業者の定義を満たさなければ申請できません。										
資本金額 (会社以外は記載不要)		1,000 万円				設立年月日 (西暦) ※3				○年○月○日				
連 絡 担 当 者	(フリガナ) 氏名	エヒメ タロウ 愛媛 太郎				役職				代表取締役				
	住所	(〒123-4567) 愛媛県〇〇市〇〇町1丁目2番3号												
	電話番号	123-456-7890				携帯電話番号				090-1234-5678				
	FAX 番号	123-456-7890				E-mail アドレス				xxxxx@zzz.ne.jp				

【様式2作成の留意事項】

- ※1 法人の場合は、法人番号を記載してください。個人事業主は「なし」と明記してください。マイナンバー (個人番号 (12桁)) は記載しないでください。
- ※2 常時使用する従業員に含めるか否かの判断に迷った場合は、地域の商工会・商工会議所にご相談いただけます。
- ※3 「設立年月日」は、創業後に組織変更 (例：個人事業者から株式会社化、有限会社から株式会社化) された場合は、現在の組織体の設立年月日 (例：個人事業者から株式会社化した場合は、株式会社としての設立年月日) を記載してください。
*個人事業者で設立した「日」が不明の場合は、空欄のまま構いません (年月までは必ず記載してください)。

<全ての事業者が対象> 小規模事業者持続化補助金 (低感染リスク型ビジネス枠) を申請している事業者か否か。	<input checked="" type="checkbox"/> 申請事業者である	<input type="checkbox"/> 申請事業者でない
<全ての事業者が対象> 補助対象事業として取り組むものが、「射幸心をそそるおそれがある、または公序良俗を害するおそれがある」事業か否か。	<input type="checkbox"/> 該当する (該当する場合は応募できません)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しない

※計画の内容は、合計最大5枚までとします。

<計画の内容（新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるための取組）>

1. 事業概要（自社の概要や市場動向、経営方針等を記載ください）

<自社の概要>

昭和〇年現社長の父が創業し、平成〇年事業承継とともに法人成りを遂げた。国道〇号沿いに店舗を構え、老舗の海鮮居酒屋（座席数〇）として地域住民の認知度も高い。

- ・店舗名…〇〇亭
- ・営業日…週〇日/〇時～〇時（〇曜日休業）
- ・従業員…厨房〇人、接客〇人（繁忙時間帯には〇人パートが加わる）
- ・売上構成等

順位	売上総額の大きい商品		利益総額の大きい商品	
	商品名	金額	商品名	金額
1位	日替わり弁当	〇万円	ビール	〇万円
2位	まぐろ丼	〇万円	特上にぎり	〇万円
3位	懐石セット	〇万円	懐石セット	〇万円
4位	ビール	〇万円	日替わり弁当	〇万円
5位	特上にぎり	〇万円	まぐろ丼	〇万円

売上全体の〇割は、周辺に立地する企業の従業員が訪れるランチ（平均単価〇円）、残りの〇割のうち約半分（〇割）が〇人以上による宴会、残り（〇割）が〇人以下の少人数による夕食。

※どのような商品やサービスを提供しているか、売上げや利益など具体的にお書きください。

<市場動向>

平日のランチは、競合店がラーメン店〇店舗（単価〇円程度）、ファミレス〇店舗（単価〇円程度）のみ。12時～13時半の間は満席で行列もできる。

夕食・宴会については、寿司だけを注文するお客様が約〇割、揚げ物・焼き物等寿司以外のメニューを注文するお客様が約〇割。一方、常連客は、約〇年前には〇名ほどいたが、周辺地域で少子高齢化が進み、現在では〇名程度まで減少。

また、〇年前に約〇km先にチェーン店の「回転寿司A」が開業して以来、売上が〇割低下した。

※顧客が求めている商品・サービスがどのようなものか、また、競合他社の存在や対象とする顧客層の増減など売上げを左右する環境をお書きください。

<経営方針>

感動する「美味しさ」の提供を経営方針に掲げ、創業時から、ずっと守り続けてきた。現在、近隣漁師〇名と専売契約を結んでおり、その日の朝に獲れたての鮮度の高いネタを提供している。その質・味については評価が高く、口コミならず、地元グルメ番組にたび

2. 販路開拓

テイクアウト商品の周知を図るため、チラシの作成と新商品を掲示した看板を店舗横に設置する。

(1) チラシ

<作成イメージ>

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

<仕様>

大きさ、紙質、枚数等

(2) 看板

<作成イメージ>

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

<仕様>

寸法、文字数、画像有無等

3. 店舗改装

テイクアウト商品受け渡し時での3密を避けるため、レジコーナー付近を改装する。

<現状>

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



<改修後イメージ>

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※本事業で取り組む内容をお書きください。その際、既存事業と異なる点、創意工夫した点、特徴など具体的にお書きください。

5. 新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための取組の中で、本補助金が経営上にもたらす効果

新たに開発した○○を主力商品に位置付けるとともに、テイクアウトでの知名度向上により、1か月○万円程度の売上増加を図る。新商品の売上原価は○割程度と見積もり、○年程度で投資を回収したい。

また、新しい取り組みを通じ、地域の方々の集いの場である当店をしっかりと維持できるようにし、雇用の確保も図っていく。

※本事業を行うことにより、売上げ、取引などにどのような効果があるか具体的にお書きください。その際、雇用や地域への波及効果なども併せてお書きください。

※経営計画等の作成にあたっては、必要に応じ、商工会・商工会議所と相談し、助言指導を得ながら進めることができます。

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

<支出経費の明細等>

(単位：円)

経費区分	内容・必要理由	経費内訳 (単価×回数)	補助対象経費 (税抜 税込)
⑤開発費	試作開発原材料	15,000 円× 2 kg	30,000
②広報費	チラシ A 4 カラー両面	200 円×500 枚	100,000
②広報費	看板設置 新商品画像付き	5 m ² ×10 万円	500,000
⑬外注費	テイクアウトコーナー 設置 (棚新調)	3 m ² ×20 万円	600,000
(1) 補助対象経費合計			1,230,000
(2) 補助金交付申請額 (1) × 補助率 2/3 以内 (円未満切捨て)			820,000

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑬外注費」までの各費目を記入してください。

※補助対象経費の消費税 (税抜・税込) 区分については、参考資料を参照のこと。

※ (2) の下限は 50 万円、上限は 100 万円。

<補助対象経費の調達一覧>

<「2. 補助金」相当額の手当方法> (※3)

区 分	金額 (円)	資金 調達先
1. 自己資金	410,000	
2. コロナ対応 新ビジネスモ デル補助金 (※1)	820,000	
3. 金融機関か らの借入金		
4. その他		
5. 合計額 (※2)	1,230,000	

区 分	金額(円)	資金 調達先
2-1. 自己資金	820,000	
2-2. 金融機関か らの借入金		
2-3. その他		

※1 補助金額は、支出経費の明細等 (2) 補助金交付申請額と一致させること。

※2 合計額は、支出経費の明細等 (1) 補助対象経費合計と一致させること。

※3 補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください。